

科目名 Subject	サロン実習 I Beauty Salon Practice I		教員名	河野 誠二	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	90
実践的教育	○				
主な学習効果	1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力		2) 表現力、すなわち芸術における実践力		
	◎		—		
科目の概要	美容学校で学んだ美容に関する基礎理論・知識・技術を基盤に、サロンワークで必要な人頭ヘアのアプローチ方法（毛流や骨格、髪質、ダメージによっての対応など）や、お客様へより細かな対応を行うための美容の知識・技術の習得、アシスタントワークの基礎技術を実習を通して学ぶ				
授業の目標	サロンワークのうち、シャンプー・マッサージ・ヘアカラー剤塗布までの技術習得はもちろん、毛量の現状を見極めて施術別に対応することのできる知識を習得し実践することができる。また、接遇並びに高齢者への対応を確実にできるようになる				
時間外学習 （予習・復習）	予習においては各回資料判例を集め、復習においては授業の反省点等をまとめたレポート作成や実技の練習を行う。この復習については60分～90分程度の時間を要することを想定しています。				
教科書・教材	教科書	無し			
	教材	美容用具一式			
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献	無し			
評価方法	授業態度70%作品20%レポートファイリング10%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	授業の一環として、美容の技術を生かしたボランティア活動や地域に貢献する活動を行います				
本科目履修と関連する資格	資格名	無し			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーションを行う	授業の内容を把握し、サロンワークに必要な基礎知識・注意事項を説明できる	自信が顧客として体験したレセプションサービスについてまとめておく
第2回	①レセプションについて学ぶお互いが顧客とレセプションになり実践する	お出迎えとお見送りの心を学び説明できるようになる	姿勢、声のトーンに着目し適切と思うことをまとめる。
第3回	②レセプションについて学ぶお互いが顧客とレセプションになり誘導方法を学ぶ	顧客名、日時、施術内容、指名技術者の有無、仕上がり時間等実際の流れを知り実施できる	スマホ・iPad等を使用して予約を取る練習、簡単なカルテを作成する。
第4回	③レセプションについて学ぶお互いが顧客とレセプションになりカウンセリング方法を学ぶ	謙譲語・尊敬語・丁寧語を使用し場面に応じた言葉使いを行える	高齢者、子供を対象とした言葉使いを考えレポートにまとめる。
第5回	シャンプー剤について学ぶ	シャンプー剤に含まれる成分を学び説明できるようになる	自身または家族が使用するシャンプーの成分表等～その特徴を、まとめる。
第6回	リンス剤について学ぶ	成分を知り施術をし合い効果の説明をできるようになる	5社以上のリンス剤の成分を調べ特徴をレポートにまとめる。
第7回	トリートメント剤について学ぶ	成分を知り施術をし合い効果の説明をできるようになる	リンス剤との違いをレポートにまとめる。
第8回	シャンプーの実践（1）ショートヘアシャンプーイングについて学ぶ（理論）	毛量長さに適したシャンプー剤の量や油圧を実施できる	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第9回	シャンプーの実践（2）ショートヘアシャンプーイングについて学ぶ（ウィッグ使用）	実際にショートヘアのウィッグを使い適切な指使い、湯圧を行える	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第10回	シャンプーの実践（3）ミディアム～ロングヘアシャンプーイングについて学ぶ（理論）	毛量長さに適したシャンプー剤の量や油圧を調整できるようになる	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第11回	シャンプーの実践（4）ミディアム～ロングヘアシャンプーイングについて学ぶ	ウィッグを使用して適切な指使い、湯圧を理解する	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第12回	シャンプーの実践（5）パーマヘアシャンプーイングについて学ぶ（理論）	カールの強さやダメージに合わせたシャンプー剤の選び方を理解する	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第13回	シャンプーの実践（6）パーマヘアシャンプーイングについて学ぶ（ウィッグ使用）	ウィッグを使用して適切な指使い、湯圧を操作できる	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第14回	シャンプーの実践（7）カラーリングヘアのシャンプーイングについて学ぶ（理論）	退色やダメージに合わせたシャンプー剤の選び方を行えるようになる	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第15回	シャンプーの実践（7）カラーリングヘアのシャンプーイングについて学ぶ	ウィッグを使用して適切な指使い、湯圧を行える	シャンプーイングについて学んだ内容をまとめレポートにする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	サイシャンプー（1）人頭によるシャンプーイングを学ぶ（セッティング）	お互いをモデルにし、セッティング技術を行える	セッティングに際して重要と思われる点をまとめる
第17回	サイドシャンプー（2）人頭によるシャンプーイング（水圧コントロール）を学ぶ	お互いをモデルにし、シャワーヘッドの扱い、水圧コントロールを行える	家庭内のシャワーヘッドの形状と使いあつの違いをまとめる
第18回	サイドシャンプー（3）人頭によるシャンプーイング（指使い）を学ぶ	お互いをモデルにし、シャンプー剤の種類による指使いを操作できる	ダメージ用・保湿用その他過程にあるシャンプー剤を使用し指通りを確かめる
第19回	サイドシャンプー（4）人頭によるシャンプーイング（毛量が多い人）を学ぶ	毛量が多い人の洗い方（指使い）を行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第20回	サイドシャンプー（5）人頭によるシャンプーイング（毛量が少ない人）を学ぶ	毛量が少ない人の洗い方（指使い）を理解し行うことができる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第21回	サイドシャンプー（6）人頭によるシャンプーイング（長さが長い人）を学ぶ	長さが長い人の洗い方（指使い）を理解し行うことができる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第22回	サイドシャンプー（7）人頭によるシャンプーイング（長さが短い人）を学ぶ	長さが短い人の洗い方（指使い）を理解し行うことができる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第23回	サイドシャンプー（8）人頭によるシャンプーイング（水圧の違い）を学ぶ	毛量、長さに合わせた水圧を操作できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第24回	サイドシャンプー（9）人頭によるシャンプーイング（水温の違い）を学ぶ	毛量、長さに合わせた水温を理解し、操作できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第25回	サイドシャンプー（10）人頭によるシャンプーイング（水圧・水温を合わせる事）を学ぶ	毛量、長さに合わせた水圧・水温を理解し、取得する	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第26回	サイドシャンプー（11）人頭によるシャンプーイング（施術内容）を学ぶ	施術内容別シャンプーイングを説明できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第27回	サイドシャンプー（12）人頭によるシャンプーイング（カラーシャンプー）を学ぶ	ヘアカラー施術前・後のシャンプーイングを理解し、行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第28回	サイドシャンプー（13）人頭によるシャンプーイング（パーマシャンプー施術前）を学ぶ	パーマ施術前のシャンプーイングを行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第29回	サイドシャンプー（14）人頭によるシャンプーイング（パーマシャンプー施術後）を学ぶ	パーマ施術後のシャンプーイングを理解し、行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第30回	サイドシャンプー（15）人頭によるシャンプーイング（エクステンション）を学ぶ	エクステンションヘアのシャンプーイングを理解し行うことができる	実習の反省点、次回改善点をまとめる

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 3 1 回	バックシャンプー（１）ウイッグによる手順説明	ウイッグを使用して手順を覚え指通りを行う	サイドシャンプーとの違いを理解し、相違点をまとめる。
第 3 2 回	バックシャンプー（２）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし、シャワーヘッドの扱い操作できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 3 3 回	バックシャンプー（３）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし水圧コントロールを行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 3 4 回	バックシャンプー（４）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし、シャンプー剤の種類による指使いを操作できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 3 5 回	バックシャンプー（５）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	パーマ施術前のシャンプーイングを行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 3 6 回	バックシャンプー（６）人頭によるシャンプーイングを学ぶ。	パーマ施術後のシャンプーイングを理解し、行えるようになる	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 3 7 回	バックシャンプー（７）人頭によるシャンプーイングを学ぶ。	エクステンションヘアのシャンプーイングを理解し、行えるようになる	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 3 8 回	毛髪を乾かす手法と効果を学ぶ	自然乾燥とドライヤーによる乾燥の相違点並びに適切なテクニックを行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 3 9 回	用具（ブローブラシの使用目的と使用方法学ぶ	毛髪の状態に合わせたスタイリング方法を比較できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 4 0 回	カラーリング（１）バージンヘア（染めていない毛髪）のカラー剤塗布方法を学ぶ	カラー剤塗布技術を確実に習得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 4 1 回	カラーリング（２）リタッチテクニック（新生毛に対するカラー剤塗布方法を学ぶ	既染毛と新生毛を区別し確実な塗布技術を説明できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 4 2 回	カラーリング（３）白髪（グレイヘア）の塗布方法について学ぶ	白髪（グレイヘア）を理解し塗布技術を行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 4 3 回	カラーリング（４－１）ヘアマニキュア塗布方法を学ぶ	ヘアマニキュアを理解しワンタッチ技術を行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 4 4 回	カラーリング（４－２）ヘアマニキュア塗布方法を学ぶ	ヘアマニキュアを理解しツウタッチ技術を行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第 4 5 回	振り返りを行う	各自不得意な部分または理解が足りていない部分において復讐質問し確実に実施することができる	全体を通しての反省点、感想をまとめる。